

めざすまちのテーマ（案） 審議会委員からの提案一覧

めざすまちのテーマ（案）		テーマ（案）に対する想い
1	郷土の自然、古き良き歴史文化を守りながら未来に向け変化し続ける伊豆市	伊豆市の自然の美しさ、歴史や文化の良さを維持し、未来永劫に進化し続けるまち
2	伊豆市いいな、伊豆市いいね	自分にとってもすばらしい伊豆であり、他者にとってもすばらしい伊豆でありたい
3	いつまでも、ずっと伊豆	これからずっと郷土愛を持ち続ける伊豆を目指したい
4	ほどよい街 伊豆市	子育て、仕事、介護、まちづくりなど広くやりすぎて目の行き届かないことがあると思います。それはすべて「完ぺき」にやろうとするからなので、ほどよく、100点でなくても90点くらいいいければいいのでは？と思いテーマにしてみました。
5	仕事と教育が充実したまち 伊豆市	若い人たちが安心して仕事や子育てができ、かつ市内の中で充実した教育が受けられるSDG'Sなまちづくりをしていけるよう願いをこめて
6	今と戦う伊豆市	未来へ向かって色々な施策をしていく＝（イコール）今、未来への取り組みをして、目指す未来にたどりつくには、結局のところ戦っているのは今なんじゃないかと思いテーマにしてみました
7	碧が彩る美しいまち 伊豆市	10年後の伊豆市をイメージしたとき、人口がますます減少し、雑草だらけの道路や朽ちた家々、さびれた商店街、耕作放棄地等、人の営みが全く感じられないまちでは人々は寄り付きません。 だからと言って人口・人流を増やそうと賑わい創出ばかりに囚われるのではなく、シンプルに目に入るところからまちづくりをしてみても、という観点でキャッチフレーズを考えてみました。 海の碧、山の碧、川の碧と、伊豆市はいろいろな碧（みどり）に囲まれています。そこに人々の営み、そして様々な構造物があります。過去の営みで負の遺産になってしまったものはできるだけ取り除き、だからと言って新たな構造物を築かなくても、整備が行き届き、景観の美しいまちであれば、住む人にとっても訪れる人にとっても心地よさを覚えるだけでなく、防災・防犯の視点からも安全につながるのではないのでしょうか。 美しい景観は人々の心を豊かにし、地域の人々の誇りにもなります。ですが、誰かにつくってもらう景観ではなく、市民一人ひとりが景観をつくる一員として意識していただくことも必要かと思います。 次世代に残すものは美しい自然と街並み。 そのための断捨離と再構築がこれからの10年間求められることだと思います。 人流はその後についてくるものと考え、思い切って逆転の発想で考えてみるのも出口戦略になるかもしれません。
8	碧が彩る和モダンcity 伊豆	和モダンとは伝統的な和のデザインに洋のデザインを取り込み、より洗練された和を表すデザイン用語です。 歴史や文化のある伊豆ですが、昔ながらの和で終わってしまっはこれからの世代に古くさいものとして終わってしまいます。 「守りながら変わり続ける」は和モダンという言葉に通ずるものがあります。 アクセントとして加えてみたキャッチフレーズが②です。
9	自然を活かし、歴史をつなぎ、文化でつながるまち 伊豆市	今あるものを活かして、つながりながら明るい未来を創っていくイメージが伺え、具体的にわかりやすいので良いのではないかと思います。自然も歴史も文化も、伊豆市ならではのものがたくさんありますので、他市町との差別化にもなるのでは無いかと思います。
10	おかえり、伊豆市	一度、離れた若者たちに向けて「いつでも帰ってきていいよ。」また、若者が帰りたくなるような伊豆市を目指す。 また、伊豆に旅行で訪れた観光客がまた伊豆を訪れたいくなるような伊豆市を目指す。
11	豊かな自然とデータサイエンスが育むまち、伊豆市	豊かな自然や文化が息づくまち伊豆市。今後、10年で人口減少が確実になる中、データに基づいて伊豆市のこれまでの文化（コンテキスト・アイデンティティ）を再発見・再構築し、伊豆市の最大資源である豊かで多彩な顔を持つ自然を守りながら活かし、伊豆市独自の発展を目指す。 また、データサイエンスを活かした、人材育成・雇用の確保、防災政策を進めていき、コンパクトシティを目指した安全で住み良い暮らしを目指す。
12	「人」と「まち」守りながら育しみ（愛しみ）輝く伊豆市	「人」と「まち」で市民と伊豆市の自然や文化・産業を表し、伝統や環境を守りながら、協働により「人」や「まち」を育て輝く伊豆市を目指す

めざすまちのテーマ（案） 審議会委員からの提案一覧

めざすまちのテーマ（案）		テーマ（案）に対する想い
13	夢と希望をかなえられるまち 伊豆市	
14	明るい未来を夢みることのできるまち 伊豆市	
15	住むまち・来るまち・学ぶまち 未来へ〇〇〇我がまち 伊豆市	<p>〇〇〇のところは、市民を鼓舞するためには「つづけ」、「はばたけ」、「翔ける」、「前進!」、「発進!」などがよいと思います。</p> <p>決意とその強さを表すためには、「つづく」、「はばたく」、「翔ける」といった断定表現が良いと思います。</p> <p>すべての市民と、このまちをおとなうすべての人々が、伊豆市の自然の豊かさに憩い、人々のやさしさにふれあい、歴史・文化とその背景に触れ、豊かで慈愛に富んだ人の心を育むこと、そしてそれらの人々が、この地への地域愛を自覚し、とこしえにその想いを継続させていく決意を示すために必要なワードとして「〇〇〇」を入れたらよいと思います。</p> <p>また、〇〇〇を実現するためには、この市をあらゆる災厄から守り抜かなければ実現しない。つまり「地域を守り、地域の未来を絶対に明るいものにするんだ!」といった決意やエールも込めています。</p>
16	住むまち・来るまち・学ぶまち 未来を守り はばたけ! 伊豆市	<p>「守る」という文字を入れましたが、感覚的に対義語として捉えうる「守る」と「変わる」を少ない文字数でテーマに盛り込むのはなかなか難しく、「災害ゼロ」の決意をどのように表現するか本当に難しいと思いました。</p> <p>温暖で自然豊かで立地的にも過不足なくほどほどに便利なためか、人々はいい意味でのんびりしていて穏やか。豊か過ぎてモノ余りというでもなく、足りなさすぎるというでもなく、自分のペースで生きていけてそこそこ満足しているからだと思います。それがためか、なにかと変化を嫌い革新的な事柄に臆してしまいがちで、突飛であることをなにより嫌い、みんなが平たく一緒であることが無難で生きる道だとしてしまう風土もあるように感じます。</p> <p>今の世の劇的な変化に柔軟性をもって俊敏に順応でき、ときには良い意味で破壊的かつ爆発的な力をもち、そしてそれを持て余している若い世代はその力を発揮することなく当市を去る一方、変化とは対極の「変わらない」という頑なさだけがかえって根強く残ってしまいがちな、誰のせいでもないけれども、どこの地方都市にもありがちな現象に対し、新総合計画策定のタイミングに合わせて、「時流の切替ポイントが来ましたよ、そろそろ本気モード出しませんか?」と問いかける意味を込めています。</p> <p>当初事務局から示されたテーマの「守りながら変わり続ける」という表現に対し、感覚的に対義語として捉えうる「守る」と「変わる」を少ない文字数でテーマに盛り込むのは難しいと考えましたので、せめて「災害ゼロ」の決意を盛り込みたいと思い、「守る」という言葉を盛り込みました。</p>
17	伊豆市 しあわせどまんなか!	<p>単純に内外に発信しやすく、言葉少なめ、インパクト重めで考えました。</p> <p>この「しあわせ」にはすべてのことが当てはまらなければならない、それを担保する決意としていますが、圧力のある重い表現だと思います。</p>
18	人・自然・地域・歴史をつなぐまち 伊豆半島の結び目 伊豆市	海・山・川の大自然、温泉や郷土の様々な歴史を大切に、建設が進みつつある伊豆縦貫道を利用しながら都市との共存も図りながら、伊豆の良さをアピールし、持続的なまちづくりに向かいたいという思いであります。そこに新たな、移住者、Ｕターン者もいただき人口増加へとつながっていく事を願っております。
19	自然と笑顔が育つまち	皆が笑顔でいられるのがいちばんいい
20	（市民・自然・歴史・文化を）守りながら 変わり続けるまち 伊豆市	伊豆市が誇る美しい自然や先人たちが積み重ねてきた歴史と文化を後世に引き継ぐために大切に守っていく責務と、災害等から市民の生命と財産を守る決意を「守る」で表す一方、これからのまちづくりを進めていく上では、時代に合ったまちとして柔軟に対応していく必要があることから、常に「変化」することも大切である旨を示す内容としたい。「守る」と「変わる」この相反する言葉をあえて組み合わせることでインパクトを持たせたコピーとする。